

新たな橋が企業を支え地域の未来をつなぎます

一般県道 富士由比線 (仮称) 新々富士川橋



完成予想図
(富士川楽座からの眺望)

新たな橋の整備により、富士川SICへのアクセス強化 ⇒ 周辺道路の渋滞が解消！ 企業活動が活性化！！



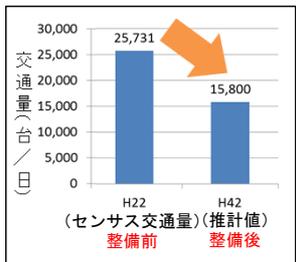
整備前

現道富士川橋や周辺道路では最大1.3kmの渋滞が発生！
通過には、18分もかかっています。
(H28.3調査)

整備後

橋の開通により、現道の交通量は、**約1万台減少**する見込みであり、**様々なストック効果に期待！！**

◀ 周辺道路の渋滞状況 ▶



効果 1 ICへのアクセス強化により、**企業活動の活性化**にも期待！

周辺企業が工場拡張で**生産性向上！**
商品の**生産量が約1.4倍**に増加！！

富士川右岸にあるA社は、静岡・山梨県の全域に、24時間体制で、毎日、商品を製造出荷しています。

配送先も増加傾向で、左岸に新工場が建設されました。(H28.12.1から稼働開始)



A社 担当者の声

台風などの通行規制時に、配送ルートを選択肢が増え、非常に便利になります。
新橋の整備計画があることも**新工場立地の一因**で、SICへのアクセスも飛躍的に向上することが期待されます。



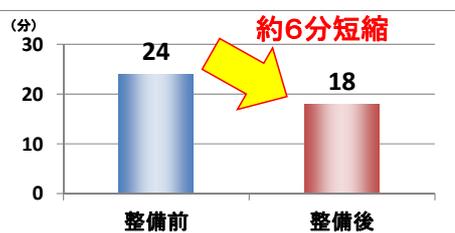
一般車の通行経路が、新しい橋に移行することで、交通が分散し、**物流の効率化、生産性の向上**が期待されます。

富士地区貨物運送事業協同組合の声

効果 2 地域内の交通が円滑化！**救急搬送時間も短縮！**

定時性の確保により、通勤や営業など、地域内の交通が円滑化が期待されます。

また、松野地区から救急医療センターまでの所要時間が約6分短縮し、迅速な医療活動に貢献します。



富士商工会議所会頭の声

富士地域の活性化につながる新々富士川橋の整備は、**地域の悲願**であり、一日も早い開通に期待いたします。

効果 3 **防災基盤の強化**に貢献！

新しい橋は地震災害等に強く、発災時の迅速な避難、防災活動にも大きく貢献します。平成25年度に、防災拠点化した道の駅「富士川楽座」との連携強化も期待されます。また、橋の上下流では、国による河川防災ステーションの整備も進められています。

<道の駅 富士川楽座>



非常用電源設備や大型モニターなどを設置

<河川防災ステーション>
(完成イメージ)



国土交通省甲府河川国道事務所 提供資料に加筆

ネットワーク確保による、地域活性化へ

一般国道414号 静浦バイパス



江間地区工業団地予定地(出展:伊豆の国市資料)



沼津アルプストンネル施工状況

道路ネットワークの確保により、新たな工業団地が立地！ 代替ルート確保により、バスの定時性確保に期待！

効果 1 道路ネットワークの確保により、 工業団地の拡大が実現！

伊豆の国市は、平成28年5月、静浦バイパスによるアクセス利便性の向上を踏まえ、**江間地区に新たな工業団地を整備**することを決定しました。



伊豆の国市市長戦略部職員の声

新設工業団地には、既に企業数社から進出希望が寄せられています。
新たな工業団地立地により、新たな雇用創出に加え、伊豆の国市・沼津市の地域活性化に大きく貢献すると考えています。



江間地区工業団地予定地(出典:伊豆の国市資料)



効果 2 代替ルートによる、 バスの定時性向上に期待！

沼津駅と伊豆の国市とを結ぶ当該地区の主要路線には、代替ルートがないため、事故など不測の事態が発生したときには運行に支障があります。

静浦バイパスの整備により、**代替ルートが確保され、バスの定時性向上**への期待が高まっています。

利用者が多い本路線は、渋滞発生時には、運行時間にばらつきがありますが、バイパス整備により、**定時性が向上**すると期待しています。

バイパス開通後には、沼津市街地と伊豆の国市を結ぶ**新規路線の運行**も考えています。



長泉町の新たなシンボルロードがまちづくりを活性化

(主)大岡元長窪線・(都)池田柵線の道路整備

長泉町

しずおか×みち



(都)池田柵線 <平成28年3月開通>



イオン長泉ロジスティクスセンター <平成27年8月完成>

開通区間の「住宅開発・企業進出」が進み、まちが活性化！

⇒ 新たな道路ネットワークの形成で更なる地域の発展に期待！

◀ 位置図 ▶



◆開通区間でのストック効果

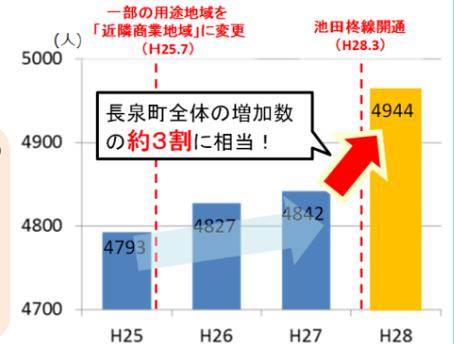
効果1 開通区間周辺の住宅開発等が進み人口増加に寄与！



長泉町役場
担当者の声

開通の3年前に周辺の用途地域を「近隣商業地域」に変更しました。開通区間の近傍では、マンション建設等の住宅地の開発や、企業の進出が進んでいます。

◆中土狩地区の人口推移(4/1時点の比較)



効果2 企業進出を誘発することで地域経済の活性化に貢献！



沿道家電量販店
担当者の声

当店は、道路の開通を見越し、沿道に出店しました。道路開通後の来店者数は、開通前と比べて5~10%程増加しました。整備済区間の付近は、現在も店舗立地や住宅開発が進んでいるため、今後も更なる売上アップが期待できます。

さらに整備中区間が開通すれば・・・



◆事業中区間の開通により期待されるストック効果

効果3 交通の安全性・利便性の向上による企業活動の活性化に期待！



鴻池運輸(株)
担当者の声

整備中区間が開通すれば、配送ルートが直線となり、安全性が向上し、また渋滞緩和により、時間信頼性も高まることから、新たな輸送ルートとして期待しています。



効果4 地方創生に資する拠点間の連携強化に期待！

◀長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積事業(内陸フロンティア総合特区事業)▶

物流関連産業や地域振興型産業等の誘致を推進し地域活性化を図るとともに、災害時は広域的な防災拠点として活用



長泉町役場担当者の声

地方創生に向けた重点的な取組の1つとして、当該事業を位置付けています。整備中区間の開通は、当該地区と都市中心部との連携強化に大きく寄与すると期待しています。